

2023年度 幼稚園評価報告書（自己評価）

信望愛学園 高千帆小百合幼稚園

方針

子どもが神から受けた生命を喜び、人を愛し人から愛されて生きるための基礎となる人格を形成されるよう、自己活動を援助します。

子どもを真の幸せへ導くため、生命を担っている両親を励まし、責任が果たされるよう協力し助けます。

2023年度 目標 「神様と繋がり、人と繋がり、毎日を喜んで生きる」

課 題	具体的な取り組みとして
① 研修（資質向上の取組）	<ul style="list-style-type: none"> カトリック幼稚園としての教育目標に取り組むため、園内外の研修の実施と参加。 モンテッソーリ教育の理念を理解し、教具についての研鑽を深める。
② 教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 園庭や室内の環境について話し合い、特に運動や遊びが充実するように幼児の発達に添った環境の構成に取り組む。 未就園児保育の充実を計り、ねらいに合わせ、必要な環境を整える。 コドモンの支援ツールを導入し、園児の情報共有と個人情報管理の徹底を図る。 園業務のICT化を進め、働き方改革を行う。
③ 情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供手段として、ホームページやインスタグラム・コドモンの支援ツールを利用して、園内外の方に園の情報を広く周知するための工夫を行う。

活動計画、及び、評価と取り組み状況

※評価の基準について・・・SABCの評価基準を導入

- S 十分効果があった→Excellentの状態 達成状況が特に優れている、予想を超える ◎
 A 成果があった →Goodの状態 達成状況が良好 ○
 B 少し成果があった→合格範囲、達成状況が概ね良好 運営に支障なし △
 C 成果が見られない→達成状況が不十分 運営に支障あり 改善必要 ×

活動計画(評価項目)	評価	取 り 組 み 状 況
① 研 修（資質向上の取組み）	A	<ul style="list-style-type: none"> *祈りの時間を持つ。（読書と祈り） *カトリック幼稚園としての教育目標に取り組むため、園内外の研修の実施と参加 <ul style="list-style-type: none"> ・マリア・カフェの開催 年3回 ・「神様のお話の時間」 年8回 ・マリア祭/さゆり祭/クリスマス特別祈禱月間での活動内容の確認 *モンテッソーリ教育の理念を理解し、教具についての研鑽を深める
② 教育環境整備	B	<ul style="list-style-type: none"> *未就園児保育の充実を計り、ねらいに合わせ必要な環境を整備。 *植物を育てるための環境作り…畑・プランターの苗床準備等 *新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 *コドモン支援ツールを導入し、園児の情報共有と個人情報管理の徹底を図る。 *園バス運転手に対して、始業前にアルコールチェッカーを用いての検査を義務化する。 *働き方改革…ICT化と仕事のスリム化を検討中。来年度も引き続き業務の見直しを行う必要がある。
③ 情報提供	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園便り・お知らせ等をコドモンメールで配信。 ・インスタグラムで行事や日常の情報を公開。

総合的な評価結果

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> 未達成事項もあるが、総合的にみて自己評価達成度は80%以上と評価した。 教育環境の整備においては、コロナ禍での生活の仕方を子ども達が理解し、自ら進んで感染予防対応を行えるようになり、コロナが5類に以降後も、様々な流行性の疾病に罹患する者もいたが園内での蔓延を防ぐことができた。 それに伴い、子ども達の健康と安全に留意しながら、宗教の時間、体操の時間、マリア祭、七五三、さゆり祭、クリスマスお祝い会等の多くの行事を、参観人数を増やしながらか開催できたことは今年度の大きな成果と感じる。 研修においては、目標を達成するために計画的に取り組むようにしていたが、モンテッソーリ教育に関する研修の時間をとることが難しい。 今後も保育の充実と働き方改革を進めるために、コドモン支援ツールの活用化とICT化を進めることにより、園業務のスリム化に努め、園内研修や情報共有の時間としたい。 保護者からのアンケート結果と自己評価（保育者）を合わせ見ることにより、来年度の行事や参加方法の見直しが必要と感じる。

今後取り組む課題

課題	具体的な取り組みとして
① 研修（資質向上の取組）	<ul style="list-style-type: none"> モンテッソーリ教育の理念を理解し、教具についての研鑽を深めるため、研修課題や取り組みの状況について、職員間の情報共有を行う。
② 教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 遊具・用具・図書を整備 未就園児保育の充実。ねらいに合わせ、必要な環境を整える。 コドモンの支援ツールによる園児の情報共有と個人情報管理の徹底を図る。 また、保育における機能を使うことにより、より良い教育を提供する。 業務の精査と働き方改革を進める。
② 安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルの見直し。 学校防災計画等の作成と訓練等を通して、緊急事態の発生時や災害時に園児の命を守るための訓練を行う。（教職員の安全対応能力の向上） 設置者と連携し、災害時に必要な物資の確保。

幼稚園評価委員会のご意見

- 新型コロナウイルスの継続対応、働き方改革等、新しい課題への取り組みとその成果を感じることができました。
- 先生方の研修等により、子ども達が様々なことに興味を持って取り組んでいるように感じる。
- 働き方改革については、休憩時間の確保等が難しいことや、時々ですが職員室に誰もおられないことが気になりました。職員数の増加等も見直して頂けると安心です。
- 来年度の課題にもありますが、安全管理の取り組みに期待します。